

**中 田 小**

令和5年5月31日

【学校教育目標】さわやか笑顔 中田っ子
～思い合い ひびきあい 共に生きる力を育てます～**【中田小ホームページ】**<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nakada/>

「私は、私にできることをしているだけ」

副校長 石井 晃

「ハチドリの一としずく」

森が燃えていました 森の生きものたちは われ先にと 逃げていきました

でもクリキンディという名の ハチドリだけは

いったりきたり 口ばしで水のしずくを一滴ずつ運んでは 火の上に落としていきます

動物たちがそれを見て「そんなことをして いったい何になるんだ」といって笑います

クリキンディはこう答えました

「私は、私にできることをしているだけ」

(出典:「ハチドリの一としずく」辻 信一監修 光文社刊 2005年)

「ハチドリの一としずく」とは、南米のアンデス地方に伝わるお話です。クリキンディの言葉が強く心に残ります。大火に一滴の水を落としても焼け石に水。そのくらいの行動では効果はないだろうと思いますが、最後の言葉が私が抱くそんな思いを大きく変えてしまいます。クリキンディは、自分の森で起きていることを自分のこととして考え、自分のできることは何かを判断し、結果は考えずに懸命に行動しています。自分の森を守りたいという一途な行動、それが奇跡を起こす可能性を感じさせてくれたのだと思います。

学校生活の中でも、様々な取り組みに於いて子ども自身が自分のこととして考え、判断し、決めて、行動していくことは、どの子にとってもより幸せな空間を実現することにつながると思います。「なかよく、きずなを深め、思い出にのこる学習にしよう」のスローガンのもと実施した4年生愛川宿泊体験学習では、周囲の状況を見て自分のできることを考え実践する子どもたちの姿が随所で見られました。そんな子どもたちは充実した幸せな2日間を過ごせたと思いますし、引率した私も心が温かくなる素敵な時間になりました。子どもたちの行動や言葉は大きな力を秘めています。学校生活だけでなく、日常生活している地域やさらには世界を変える可能性もあります。SDGs(持続可能な開発目標)で示されている17の目標にあるように地球温暖化、環境問題、飢餓等の課題に私たちは今直面しています。それらの難しい課題に対しても、だれもが幸せになるために「私にできることをしているだけ」という心持ちを大切にしたいですね。